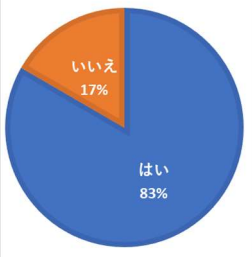
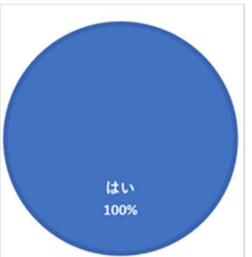
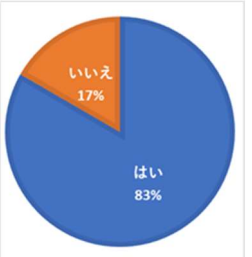
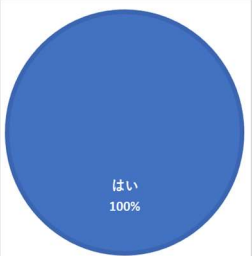
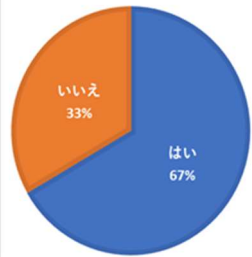
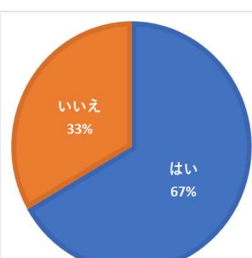
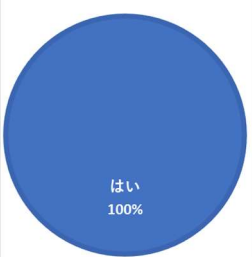


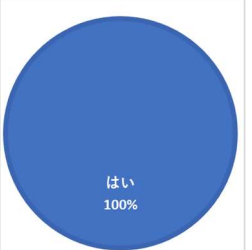
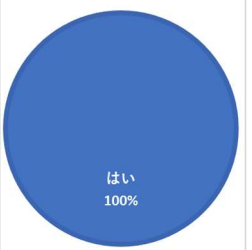
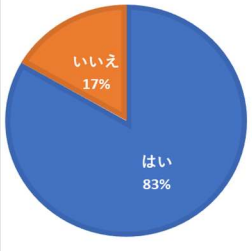
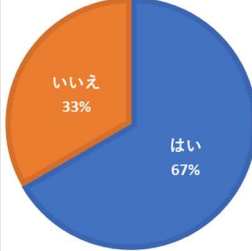
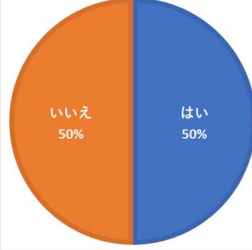
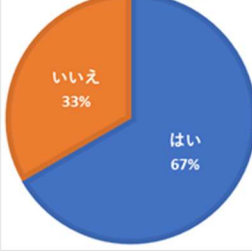
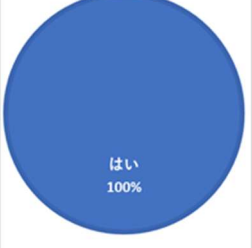
事業者向け 児童発達支援自己評価表(公表) 5/5

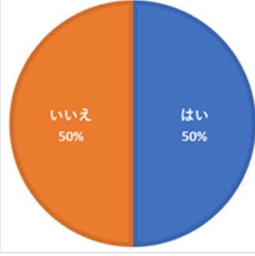
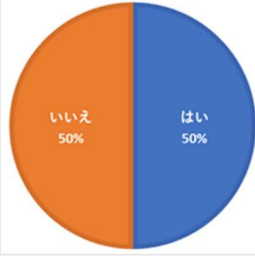
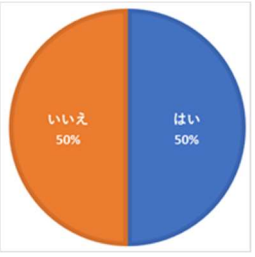
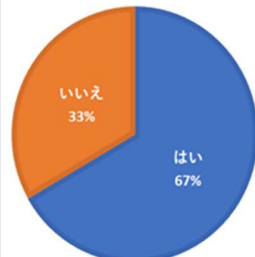
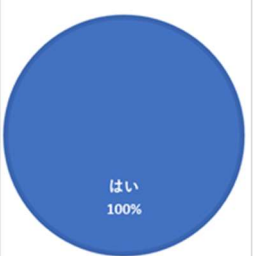
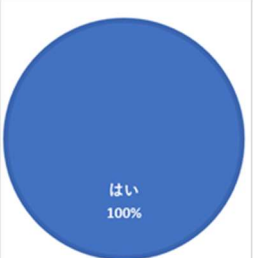
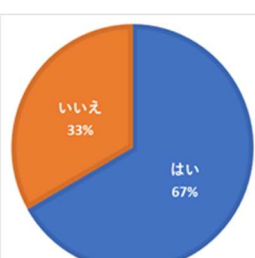
公表 令和3年3月

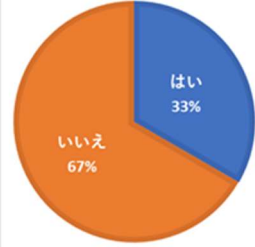
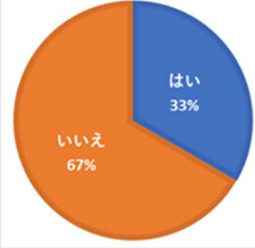
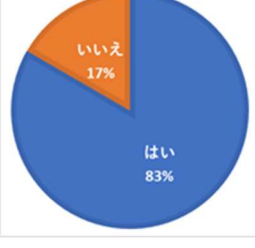
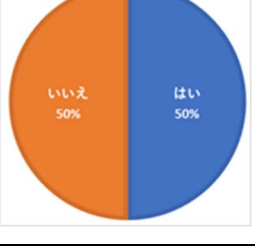
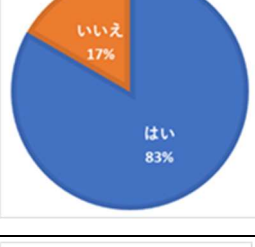
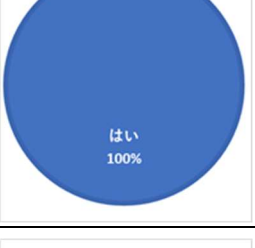
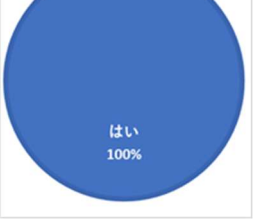
事業所名 あけぼの学園

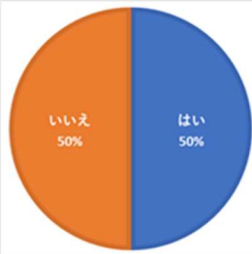
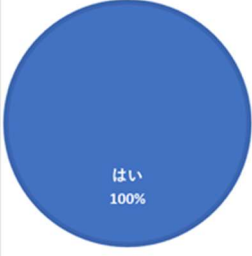
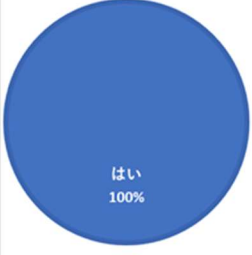
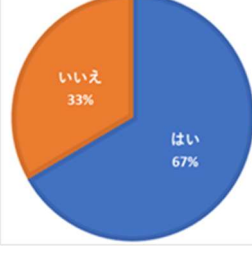
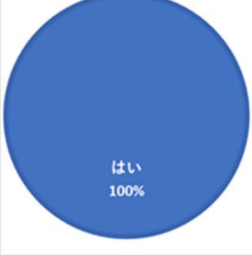
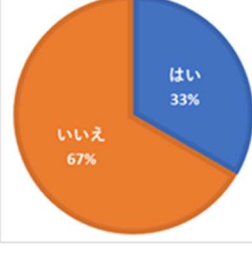
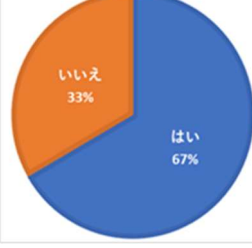
		チェック項目	回答結果 ■はい ■いいえ	意見	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<p>はい 33% いいえ 67%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日の出席人数による。</li> <li>・呼吸器等の医療機器の必要な利用児が出席時、スペースの狭さを感じる。</li> <li>・コロナ禍において、定員減でありながらも粗大遊具を出すのが狭く感じた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2階プレイルームを成人グループとパーティションで分けて使用しているため、スペースを広げることが出来ないが、活動内容により、他の部屋(訓練室等)を活用することで対処している。</li> </ul>
	②	職員の配置数は適切であるか	<p>いいえ 17% はい 83%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児の重症度や発達、活動内容によって、足りないと感じる場面が多々ある。</li> <li>・状況による、他事業との兼務のため、働き辛さを感じることもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人グループとの利用人数の割合に応じた、人員調整で対応していく。</li> </ul>
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<p>いいえ 33% はい 67%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、知的発達の高い子供達も増え、また、独歩をする子もおり、安全面には、更なる注意や環境設定が必要である。</li> <li>・ワンフロアをパーティションで仕切り、2つの事業を行っていることで、音が干渉し、集中できない児がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クッションフロアであり、人工呼吸器、吸引機器等の使用する利用者が多く、空調、衛生面で、配慮されている。</li> </ul>
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子供達の活動に合わせた空間となっているか	<p>いいえ 33% はい 67%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日清掃、除菌を行っている。</li> <li>・子どもたち全員に合った環境設定は難しいと感じることがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動後の振り返りで善処を検討している。</li> <li>・玩具等、活動物品の定期清掃を十分行っていく。</li> </ul>
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<p>はい 40% いいえ 60%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思うようにできていないのが現状</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改善は毎朝のミーティングで随時検討し、毎月の職員会議でその是非を決定し周知徹底する。</li> </ul>
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<p>はい 100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年アンケートを実施している。</li> <li>・なるべく保護者の意見を尊重するように心掛けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドライン保護者評価アンケートのほか、年度末に事業計画全般のアンケートを実施し、結果報告とその対応について、保護者各位に報告している。</li> </ul>

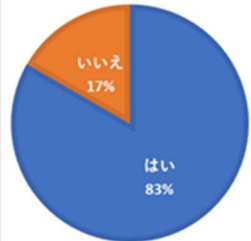
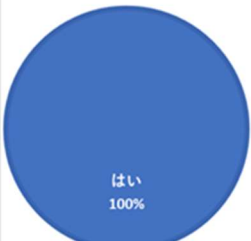

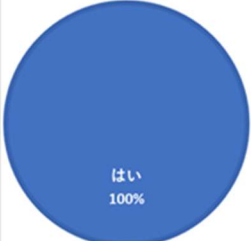
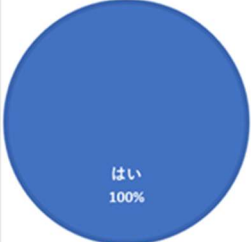

	<p>⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者評価を実施している。</li> <li>・毎月「学園だより」を発行し、学園の様子をお知らせしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人本部のホームページ掲載に向けて動いていることで周知を図る。</li> <li>・ガイドライン保護者評価アンケートのほか、施設単独アンケートを実施し、結果報告とその対応について報告している。</li> </ul>
	<p>⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種マニュアルの更新が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度は、受審年度にあたり、それぞれ改善を要する箇所については可能なものから迅速に対応している。</li> </ul>
	<p>⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めの職員個人調書に基づき、年間計画で、研修が設けられている。</li> <li>・定期的に園内研修を実施している。</li> <li>・研修の内容をもっと現場ですぐに活かせるような学びになるような検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人調書を主に研修委員会を通して、年間での研修計画を立て、</li> <li>・外部研修はもとより、隔月に勤務外で学習会も行っている。</li> <li>・職員の希望を募るほかに、事業所として不足している分野の研修に積極的に参加させたい。</li> </ul>
	<p>⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末に個人面談を行っており、その中で出た要望等を個別支援計画に反映している。</li> <li>・日常での会話や相談も含め、支援内容に繋げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者には年度末に療育のご意向を伺い、子どもの評価と併せて個別支援計画を作成している。</li> </ul>
適切な支援の提供	<p>⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレングスの抽出</li> <li>・療育活動や生活等の各項目毎の現状や留意点を記載している。</li> <li>・個々の特性に応じた個別支援計画を作成し、療育を展開している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国の公立及び法人立の重症心身障害児施設を対象に実施する実態調査に使用される個人チェックリスト等を用いている。</li> <li>・大田ステージ、MAPA2の導入を検討。</li> </ul>
	<p>⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の特性に応じた個別支援計画を作成し、療育を展開している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達支援として社会福祉協議会、相談支援事業所等の関係機関との連携会議にも参加する。</li> </ul>
	<p>⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の特性に応じた個別支援計画を作成し、療育を展開している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録用紙は個々の支援項目に沿って記録するスタイルにしている。</li> </ul>

⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月のグループ会で、プログラムを検討している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容は、グループ担当職員の輪番制で、グループ会に提示され、グループで決定した内容で実施している。</li> </ul>
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具、製作、散策等、季節のものを取り入れている。</li> <li>・子供に合わせて内容を考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動プログラムが偏らない様に配慮すると共に、個々の子どもにとっても同じ内容にならないように配慮している。</li> </ul>
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別活動という枠では、ないが限りなく個別に近い集団活動との認識で行っている。</li> <li>・重症児の場合、個別の関わりが重要と考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設定された療育活動は、グループでの活動が中心になっているが、食後の保護者の休憩中に個別活動を実施している。(今年度は、コロナ禍において、短縮にて、午前中のみのも事業となっている)</li> </ul>
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来るだけ、打ち合わせを事前に行っている。</li> <li>・打ち合わせができる日もあれば、出来ない日もある。</li> <li>・何か気が付いたことがあれば、その都度話すようにしている。</li> <li>・打ち合わせが十分でないことが多いと感じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のミーティングで、予定する活動プログラムの内容と役割分担、及び子どもの特性を踏まえた支援の在り方などの確認を行うようにしている。</li> </ul>
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・極力、話し合いを行うようにしているが、できていない日もある。</li> <li>・限られた職員間のみである事が多い。</li> <li>・振り返りをもう少し充実させていく必要性を感じる。</li> <li>・打ち合わせが十分でないことが多いと感じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録ボードに記録し、情報を集中させ、必要に応じて、その記録を見ることで、情報共有している。</li> </ul>
⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・気づいた事等を共有するようにしている。</li> <li>・児童発達支援管理責任者とも相談し、検証。改善している。</li> <li>・検証と改善が個々にとどまってしまうと感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各記録用紙の項目に沿って記録することを徹底し、毎月のグループ会議で各児童の支援状況を点検し改善に繋げている。</li> </ul>
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年に一回、中間評価の実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の他、必要に応じて個別面談を設け対応している。</li> </ul>

関係機関や保護者との連携	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当もしくは、医療ニーズが高い場合、看護師が参画する。</li> <li>・勤務や職員体制の都合でできていない事がある。</li> <li>・ソーシャルワーカーも毎月のグループ会議に参加している。</li> <li>・コロナ禍において最近では、電話連絡のみになってしまっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当職員が参加できるように極力配慮している。</li> </ul>
	⑳	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・少し、弱いところではあるが、各部門との連携をとっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各区(世田谷区、目黒区、渋谷区、千代田区)の所管部署や関係機関との連携を密にし、必要に応じて他の関係機関とも連携できるよう行動していく。</li> </ul>
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケース会議の参画・他施設からの情報提供や依頼を受けて対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて対応している。</li> </ul>
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院等した場合、医療情報、看護サマリーの提供をお願いしている。</li> <li>・直接的な連絡よりも保護者から情報提供されることが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用契約時に、子どもの主治医には保護者を通じて診療情報提供書や医療的ケア指示書を頂き、保護者には医療的ケアの変更がある場合、改めて医療的ケア指示書を頂いている。</li> <li>・嘱託医を通し、利用児の主治医や協力病院との連携が図れている。</li> </ul>
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園へは、相互で訪問する。</li> <li>・直接的な連絡よりも保護者から情報提供されることが多い。</li> <li>・コロナ禍において、書面のみになってしまっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて情報交換の機会を設けている。</li> </ul>
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・相互理解を図る機会がもっとあればと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の承認を得て「指導経過など連絡票」を作成し情報提供している。</li> </ul>
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務時間内での連携が難しく、勤務時間内で、話し合いを設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国から委託を受けた某療育機関の療育研修会や講習会に参加しているが、区主催の発達専門研修にも職員を派遣している。</li> </ul>

	⑳ 保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケアの必要な利用児がばかりで、感染のリスクを考え、交流を控えている。</li> <li>・世田谷区の依頼による障害児技術支援訪問を行っている。</li> <li>・現場職員が関わることがないと感じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染の蔓延を避けるため、工夫した交流の機会を設けることが課題となっている。</li> <li>・区立保育園を訪問し技術支援を行っている。</li> </ul>
	㉑ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員個々の参加は、ないが、学園として、代表者は、会議に参加している。</li> <li>・そのような機会が、今のところない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区主催の自立支援協議会に参加している。そのほか子どもの発達支援としてすこやか福祉センター・相談支援事業所等の関係機関との連携会議にも参加する。</li> </ul>
	㉒ 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子通園なので、親も一緒に療育を行っている。</li> <li>・保護者同伴の通園のため、歯なる機会が多く、家での様子を聞くことが出来ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に通園時や電話で情報交換している。</li> </ul>
	㉓ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子分離が難しいケースに対してできる範囲でサポートしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じ、対応している。</li> <li>・聴覚障害のある利用児に対し、手話やマカトサインでの支援を行っている。</li> </ul>
保護者への説明責任等	㉔ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長やソーシャルワーカーが中心に行っている。</li> <li>・年度初めのオリエンテーション等で、丁寧な説明を行い、その都度、疑問点や質問に応じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用契約時に実施している。</li> <li>・運営方針や運営規程、苦情窓口など玄関エントランスホールの壁にも表記し、理解できるように配慮している。</li> </ul>
	㉕ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めに個別支援計画を作成し、保護者の同意を得て療育活動を展開している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画は児童のアセスメント及び保護者の療育のご意向を含めて作成し、保護者には個別支援計画書を提示しながら支援内容を説明し、同意を得ている。</li> </ul>
	㉖ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子通園のため、その都度、相談に応じる体制が出来ている。</li> <li>・なるべく話を聴いて、定期的にと言うより、その都度助言するようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時、相談に応じ、必要に応じ関係機関等とも連携が取れる体制が出来ている。</li> </ul>

	<p>③⑤ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体行事の中で、保護者同士意見交換できる場を提供している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士の連携については、同じ通園日に会った機会に交流することができて全員が、集まったの連携は難しい。</li> <li>・協力支援出来る方向で検討していく。</li> </ul>
	<p>③⑥ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談には、園長を通じ、速やかに対応している。</li> <li>・すぐに対応できることがあれば、行うようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通園時に直接の相談、各種アンケート等で頂いた相談や申し入れについては、迅速に対応するよう努めている。</li> </ul>
	<p>③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・月刊誌の発行により、お伝えできている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的には、通園時の相談や電話で情報交換しているが、「学園だより」「活動カレンダー」を月間発行し、活動概要や行事予定、トピックスなどを掲載している。</li> </ul>
	<p>③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意しているか</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンデータ、利用児個々の帳票類は、持ち出ししないようにセキュリティや施錠で管理している。</li> <li>・意識をもっと高めていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当法人の個人情報保護規定の周知徹底を図り、個人ファイルを保管する棚は施錠管理が徹底されている。</li> </ul>
	<p>③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の特性に応じた対応をお心掛けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は、利用児の些細な動きから発信される意思を汲み取る観察力と洞察力を養う努力をしている。</li> <li>・保護者から子どもの情報を頂き、子どもの状況から絵カードやマカトサインを提供するなどしている。</li> </ul>
	<p>④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物の一階診療所にコミュニティエリアを設け、AED や自動販売機の設置により、憩いの場を提供している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学園の課題であると感じている。ただ、施設のスペースや利用児の特性から、感染が、蔓延しないように配慮したうえで、今後も慎重に対応していく。</li> </ul>
<p>非常時等の対</p>	<p>④⑪ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルはあるが、知らない方も多いと思う。</li> <li>・マニュアルはあるが、訓練が少ない。</li> <li>・更新を要する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種マニュアルを改定する中で、職員や保護者に周知徹底していく。</li> </ul>

<p>応</p>	<p>④2 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月訓練を実施している。</li> <li>・定期的に行う必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月防火防災訓練を実施している。</li> <li>・消防署の立ち合いでの訓練も実施している。</li> </ul>
	<p>④3 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者より、変更点を含め、確認できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への聞き取りや主治医の「医療的ケアの指示書」から情報を得て一覧表にまとめ、日常的に確認出来ている。</li> </ul>
	<p>④4 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず、アレルギー検査、診断書を提出してもらい、対応できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー検査を受けていただき、医師の指示書により、情報共有できている。</li> </ul>
	<p>④5 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・インシデントが発生した際、速やかにレポートを作成し、夕のミーティングで報告している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットが発生した時、「インシデント・アクシデントレポート」を作成し、ミーティングで報告し、共有している。一か月の集計は、職員会議で共有、更に年3回の「安全管理・感染予防対策委員会」で、対応策を検討し、事故防止の周知徹底を図っている。</li> </ul>
	<p>④6 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師による研修会を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権擁護委員会が中心になり、「虐待防止チェックリスト」を年2回、自己チェックし、集計を基に職員間で評価を実施している。</li> <li>・東京都の人権研修を順番に受講している</li> <li>・東社協で主催する派遣講師の研修を年一回、全職員で受講している。</li> </ul>
	<p>④7 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束はしていない。</li> <li>・現在のところ身体拘束を行う必要のある利用児がいない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記に同じ。</li> </ul>